

■日本燃焼学会創立50周年記念特集■

学会創立 50 周年記念展示

創立 50 周年記念事業特別委員会 (展示担当) 土橋 律

日本燃焼学会創立 50 周年記念事業の一環として、記念展示を、第 43 回燃焼シンポジウム会期中 (平成 17 年 12 月 5 ～ 7 日) に実施いたしました。第 43 回燃焼シンポジウムは、東京都江戸川区のタワーホール船堀において開催され、記念展示はシンポジウム会場の展示ホールにおいておこなわれました。

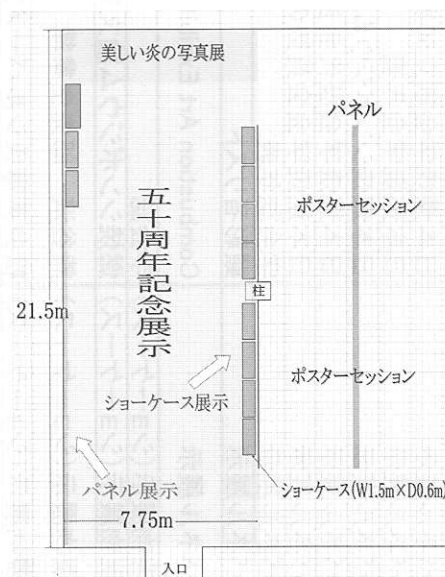
記念展示の内容については、表 1 にまとめてあります。日本燃焼学会 50 年の歴史、諸データをまとめたパネル、および学会出版物、The Combustion Institute 顕彰メダルやシンポジウム、ミーティングなど行事の写真等が展示されました。パネル 10 枚、ショーケース 10 個およびシンボルトーチ実物等の展示が約 170 平方メートルの広いスペースでおこなわれ、余裕をもって見て頂くことができました。

東京開催のシンポジウムと同時開催ということもあり、展示会場には、非常に多くの方々に足を運んで頂きました。古くから燃焼学会を知る人々には、かつての記憶を思い出しながら懐かしく見て頂きました。また、最近燃焼学会に入った若い人々には、燃焼学会の歴史を理解し、創成期のできごとについて興味深く見て頂きました。創立 50 年の節目に、燃焼学会の創立からの歴史を総括し、様々なできごとを振り返ったことは、燃焼学会について理解し、今後の発展につなげるためにも大変有意義であったと考えております。

この展示をおこなうにあたっては、創立 50 周年記念事業特別委員会 (委員長：新岡嵩先生) において 1 年近く前から準備を開始しました。学会の歴史、諸データについて情報収集と整理をおこないパネルにまとめました。また、展示物については、日本燃焼学会の歴史的品物について情報提供をして頂き、様々な品を集めて展示いたしました。ほとんどの品物は、個人所有でありましたので、関係者の人づてによって連絡を取ることができたものも多々ありました。そのような品々を集めて展示した時には、50 年の歴史の重さを深く感じました。以上述べましたように、この展示をおこなうにあたっては、貴重なメダルや記念の品、写真等を多くの方々からころよくお貸し頂きました。また、パネル作成のための情報収集やまとめ、展示物の企画提案などにおいて多くの方々から情報やご意見を頂きました。これらのご協力無しには今回の記念展示は実現しなかったと思います。ここに誌面を借りて厚く御礼申し上げます。



会場の様子



記念展示会場平面図

表1 創立50周年記念展示の展示物一覧

No.	展示形態	展示内容	詳細
1	パネル展示	日本燃焼学会創立50周年記念展示	創立50周年記念事業特別委員会委員長あいさつ
2	パネル展示	日本燃焼学会年表	
3	パネル展示	日本燃焼シンポジウム年表	
4	パネル展示	日本燃焼学会歴代会長	
5	パネル展示	日本燃焼学会会員数の変遷	
6	パネル展示	学会誌年表	
7	パネル展示	顕彰者リスト	
8	パネル展示	Combustion Art Exhibit 出展作品	第30回国際燃焼シンポジウム、September 25-30, 2004, University of Illinois, Chicago、 — The Combustion Institute創立50周年記念行事 —
9	現物展示(シヨウケース)	学会誌	燃焼研究第1号～最新の燃焼学会誌140号
10	現物展示(シヨウケース)	燃焼シンポジウム論文集	第1回～最新の第43回(第1号は燃焼研究6号掲載の要旨のコピー)
11	現物展示(シヨウケース)	熊谷清一郎先生業績	The Alfred C. Egerton Gold Medal(1978年、写真)および受賞スピーチ原稿、世界初の微小重力実験に使われた燃焼室
12	現物展示(シヨウケース)	松井英憲氏シルバメダル	Silver Combustion Medal および賞状(1980年)
13	現物展示(シヨウケース)	辻廣先生業績	The Bernard Lewis Gold Medal および賞状(1988年)、日本学士院賞受賞(1990年)の説 明スライドおよび新書本
14	現物展示(シヨウケース)	新岡嵩先生ゴールドメダル	The Alfred C. Egerton Gold Medal および賞状(2000年)
15	現物展示(シヨウケース)	平野敏右先生ゴールドメダル	The Bernard Lewis Gold Medal および賞状(2004年)
16	現物展示(シヨウケース)	創設当時の理事会資料と会員名簿	
17	現物展示(シヨウケース)	第11回国際燃焼シンポジウム写真	University of California, Berkeley, California, August 14-20, 1966、写真提供: 瀬賀節子先生(東邦大学名誉教授)
18	現物展示(シヨウケース)	第15回国際燃焼シンポジウム写真	東京 都市センター、1974年8月26-31日、写真提供: 足田知士氏(足田先生ご子息)
19	現物展示(シヨウケース)	第29回国際燃焼シンポジウム写真、 バッグ	札幌 京王プラザホテル、2002年7月21-28日、展示物提供: 伊藤献一先生、藤田修先生 (北海道大学)、星野崇氏
20	現物展示(シヨウケース)	Hawaii Joint Meetingの写真、アブストラクト	Honolulu, Hawaii, November 22-25, 1987、展示物提供: 石塚悟先生(広島大学)、堀守雄先生(拓殖大学)
21	現物展示(シヨウケース)	Sydney Joint Meetingの写真、アブストラクト	Univ. of Sydney, Sydney, September 24-27, 1989、展示物提供: 石塚悟先生(広島大学)、堀守雄先生(拓殖大学)、大八木重治先生(埼玉大学)、鶴田俊氏(消防研究所)
22	現物展示(シヨウケース)	Moscow Joint Meetingの写真、アブストラクト	Chernogolovka, Moscow Region, October 2-5, 1993、展示物提供: 角田敏一先生(大阪府立大学)
23	現物展示(シヨウケース)	ASPAC Meetingの写真、アブストラクト、バッグ	Osaka Univ., Osaka, May 12-15, 1997、展示物提供: 角田敏一先生(大阪府立大学)、堀守雄先生(拓殖大学)、星野崇氏
24	現物展示	第15回国際燃焼シンポジウム記念シンボルトーチ	東京 都市センター、1974年8月26-31日、展示物提供: 東京ガス株式会社

日本燃焼学会 創立50周年記念展示

日本燃焼学会は、本年創立50周年記念の年を迎えました。1955年日本燃焼研究会（会長 矢木 栄）として発足し、ほぼ同時に国際的組織の The Combustion Institute の日本支部となりました。当時、総会員はわずか25名でしたので小規模の研究会でしたが、戦後の学術研究の躍進や産業界の興隆に伴って急速に成長を遂げ、1991年日本燃焼学会に名称変更をし、会員総数約700名の今日の学会に成長いたしました。

日本の燃焼研究は、燃焼科学への極めて大きな貢献を成し遂げていると共に、エネルギー需要の増大強化への対応、公害・安全課題の解決、省エネルギー推進への寄与など、あらゆる燃焼やエネルギー問題の中核的存在として、我が国のみならず世界の学術・工学・技術に多大な貢献をしてまいりました。

省エネルギー、新燃焼法、安全などへの関心が高まる中、燃焼研究への期待は大きいものがあります。本年50周年の節目を迎えるにあたり、これまでの本学会の歴史を紐解いてその功績を讃えると共に、記念品を展示して会員の皆様に開示し、なお一層の燃焼研究への理解を深めて戴きたいと考えます。また、これを契機に会員の皆様の一層の研究意欲を喚起できれば良いと考えます。

日 本 燃 焼 学 会 長

創立50周年記念事業委員長

COMBUSTION SOCIETY OF JAPAN
JAPANESE SECTION OF THE COMBUSTION INSTITUTE



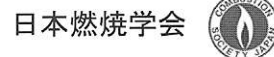
日本燃焼学会

www.combustionsociety.jp

D-4

パネル展示(No.2)

日本燃焼学会年表



西暦	年号	会長	事 項	燃焼シンポジウム	International Combustion Symposium
1955	昭和30	矢木栄①	日本燃焼研究会創立 会員25名(学術会議研連委員13名 個人会員12名) 会費600円 維持会員18団体 会費1万円 幹事:熊谷, 足田, 芥川, 清水, 坂本 監査:伊藤, 小幡		
1956	31	矢木栄	[研究抄録誌]発刊		[6] New Haven, USA
1957	32	矢木栄			
1958	33	矢木栄			[7] London & Oxford, UK
1959	34	矢木栄	[燃焼研究]創刊号発刊 全33頁 記事6編 編集委員長:熊谷清一郎		
1960	35	矢木栄	[燃焼研究] 2号		[8] Pasadena, USA
1961	36	矢木栄	[燃焼研究] 3号		
1962	37	矢木栄			[9] New York, USA
1963	38	矢木栄	第1回燃焼シンポジウム開催 12月 日本化学会講堂(東京) 論文12編 [燃焼研究] 4号 編集委員:辻廣(委員長), 秋田一雄, 飯沼一男, 木村逸郎, 国井大蔵, 土屋莊次	[1] 東京	
1964	39	矢木栄	[燃焼研究] 5号	[2] 東京	[10] Cambridge, UK
1965	40	足田強②	講演討論会:「固体推進剤の点火と燃焼」, 「エンジン内の異常燃焼」, 「輝炎」, 「火炎のイオン化」 [燃焼研究] 10号	[3] 東京	
1966	41	足田強	講演討論会:「Shock Ignition in Gases and Transition to Detonation」	[4] 東京	[11] Berkeley, USA
1967	42	足田強	講演討論会:「放電に伴う化学反応」, 「ロケットと燃焼反応」, 「流れと燃焼」, 「燃焼伝熱関連」	[5] 東京	
1968	43	足田強	講演討論会:「Combustion of Ammonia in Engines and Short Comments on Electric Powered Vehicles」 [燃焼研究] 20号	[6] 東京	[12] Poitiers, France
1969	44	足田強	講演討論会:「デトネーション」, 「自動車の大気汚染対策」, 「Fire Research」, 「渦巻燃焼器」	[7] 東京	
1970	45	足田強	講演討論会:「燃焼と化学反応」, 「ガスタービン燃焼器」, 「Acoustic Noise from Flames」 座談会:「都市ガス燃料としてのLNG」	[8] 大阪	[13] Salt Lake City, USA
1971	46	足田強	講演討論会:「炎の電気的性質」, 「バーナ」 座談会:「燃焼と騒音」	[9] 東京	
1972	47	足田強	講演討論会:「CO, NOエミッション」 [燃焼研究] 30号	[10] 東京	[14] University Park, USA
1973	48	足田強	講演討論会:「CO, NOエミッション」, 「NO _x 」 座談会:「NO _x 」	[11] 東京	
1974	49	足田強	第15回国際燃焼シンポジウム開催(東京, 日本都市センター) 組織委員長:足田強	[12] 東京	[15] Tokyo, Japan
1975	50	功刀雅長③	講演討論会:「火災内での乱れの測定技術」, 「火炎構造」, 「噴霧の着火遅れ」, 「窒素酸化物」 [燃焼研究] 40号	[13] 東京	
1976	51	功刀雅長	講演討論会:「大学における燃焼工学」, 「NO _x 生成の化学反応機構」	[14] 東京	[16] Boston, USA
1977	52	功刀雅長	講演討論会:「光学的方法による化学種濃度およびガス温度の測定」, 「乱流燃焼」, 「エネルギー」	[15] 京都	
1978	53	功刀雅長	講演討論会:「レーザドブラー流速計による乱流火炎の計測」	[16] 東京	[17] Leeds, UK
1979	54	辻廣④	講演討論会:「超希薄混合気の燃焼」, 「噴霧の計測技術」, 「火炎の計測と噴霧燃焼」 [燃焼研究] 50号	[17] 名古屋	
1980	55	辻廣	講演討論会:「代替燃料としてのメタノールの将来性」, 「Heterogeneous Combustionのモデリング」	[18] 東京	[18] Waterloo, Canada
1981	56	辻廣	講演討論会:「新計測技術」, 「暖房用ストーブ」, 「微粒子(すす)生成と燃焼」	[19] 仙台	
1982	57	辻廣	講演討論会:「燃焼の化学反応」, 「新しい燃料の燃焼排出物」, 「代替燃料の燃焼と燃焼技術」 [燃焼研究] 60号	[20] 横浜	[19] Haifa, Israel
1983	58	辻廣	講演討論会:「バルス燃焼」, 「熱再循環燃焼法」, 「新しい燃焼促進法」, 「アルコールおよび石炭の燃焼」	[21] 大阪	
1984	59	辻廣	講演討論会:「輻射エネルギーと燃焼促進技術」, 「昔の火災と今の火災」, 「火災の動的挙動と乱流燃焼」	[22] 東京	[20] Ann Arbor, USA
1985	60	神野博⑤	講演討論会:「日本燃焼学会30周年記念会」開催(東京, 竹橋会館, 31名出席) 講演討論会:「家庭用燃焼器の高負荷燃焼」, 「新しいLDVの開発と応用」, 「乱流燃焼」 [燃焼研究] 70号	[23] 広島	
1986	61	神野博	講演討論会:「アルコールおよび石炭の燃焼」, 「流れの数値解析手法」, 「新しい燃焼技術動向」	[24] 東京	[21] Munich, Germany
1987	62	神野博	米国西部支部と日本燃焼学会との合同公演会開催(ハワイ) 講演討論会:「燃焼の化学反応」, 「燃焼計測技術と応用」, 「容器内燃焼」, 「燃焼技術の変遷と今後」	[25] 札幌	
1988	63	神野博	「シンポジウム期間中に次年度定時総会を開催」と変更 講演討論会:「微小重力環境の利用」	[26] 東京	[22] Seattle, USA
1989	平成元	平野敏右⑥	日本・オーストラリア/ニュージーランド合同燃焼講演会(シドニー) 講演討論会:「火炎を用いた新素材製造プロセス」, 「ガス燃焼」 [燃焼研究] 80号	[27] 福岡	
1990	2	平野敏右	講演討論会:「超音速流れにおける燃焼」, 「低NO _x 燃焼技術」, 「ガスタービン燃焼器と環境問題」 第1回炎の写真展(東京, 銀座)	[28] 水上	[23] Orleans, France
1991	3	平野敏右	日本燃焼学会へ移行, 幹事降止, 理事新設 講演討論会:「乱流と予混合火炎」	[29] 京都	
1992	4	平野敏右	講演討論会:「火炎の光学計測」, 「燃焼研究の将来」 [燃焼研究] 90号	[30] 名古屋	[24] Sydney, Australia
1993	5	平野敏右	日本燃焼学会「功労賞」, 「奨励賞」, 「技術賞」を創設 日露合同講演会(モスクワ近郊) 講演討論会:「すす生成反応」, 「環境にやさしい燃焼技術」, 「燃焼による材料合成」	[31] 横浜	
1994	6	平野敏右	講演討論会:「炉内燃焼」, 「レーザ計測による燃焼診断」, 「超音速燃焼の課題」	[32] 仙台	[25] Irvine, USA
1995	7	新岡嵩⑦	講演討論会:「乱流予混合燃焼」, 「数値解析による燃焼場の解明と予測」 [燃焼研究] 100号	[33] 東京	
1996	8	新岡嵩	田中良一基金創設 講演討論会:「微小重力研究における最近の成果」	[34] 広島	[26] Naples, Italy
1997	9	新岡嵩	ASPACC97を開催(大阪大学) 実行委員長:香月正司 講演討論会:「環境負荷低減のための燃焼技術」 [燃焼研究] 110号	[35] 東京	
1998	10	新岡嵩	日本燃焼学会「論文賞」を創設 講演討論会:「燃焼起源ダイオキシンの生成と制御」	[36] 札幌	[27] Boulder, USA
1999	11	河野通方⑧	講演討論会:「レーザ利用技術の進展」	[37] 千葉	
2000	12	河野通方	講演討論会:「新しい燃焼モデリングの試み」 [燃焼研究] 120号	[38] 福岡	[28] Edinburgh, UK
2001	13	河野通方	講演討論会:「環境調和型固体燃焼技術の展開」	[39] 横浜	
2002	14	河野通方	第29回国際燃焼シンポジウム開催(札幌, 京王プラザホテル他) 組織委員会委員長:伊藤献一 「燃焼研究」は126号で終了し, 「日本燃焼学会誌」(A4版)第44巻127号を発刊 [日本燃焼学会誌] 130号	[40] 大阪	[29] Sapporo, Japan
2003	15	伊藤献一⑨	講演討論会:「自動車用エンジン燃焼技術」	[41] つくば	
2004	16	伊藤献一	講演討論会:「燃焼炉における制御技術」	[42] 岐阜	[30] Chicago, USA
2005	17	角田敏一⑩	日本燃焼学会創立50周年記念式典開催 [日本燃焼学会誌] 140号	[43] 東京	



日本燃焼学会

日本燃焼シンポジウム年表 (1/2)

燃焼シンポジウム 回数	開催日	開催場所	主催	共催	特別講演	招待講演	論文数	会場数	実行委員長	備考
(燃焼に関する シンポジウム)	1963年12月14日	日本化学会講堂	日本燃焼研究会	—	—	—	12	1		
(燃焼シンポ ジウム)	1964年12月12日	日本化学会講堂	—	日本燃焼研究会、日本化学会、 日本機械学会	熊谷清一郎 (第10回国際 シンポ報告)	—	22	1		企画：日本機械学会燃 料・燃焼部門 前刷集 150円
第3回	1965年12月10日～11日	日本化学会講堂	—	+ 日本学術会議燃焼研究連絡 委員会、日本航空学会(5学協会)	中田金市	—	21	1		前刷集 B5版42頁 2頁/1論文
第4回	1966年12月9日～10日	日本化学会講堂	—	+ 化学工学協会 (6学協会)	辻 廣(第11回 国際シンポ報告)	—	26	1		
第5回	1967年12月8日～9日	日本化学会講堂	—	"	—	—	35	1		
第6回	1968年12月16日～17日	日本化学会講堂	—	+ 燃料協会 (7学協会)	近田 強(第12回 国際シンポ報告)	—	40	1		懇親会800円
第7回	1969年12月5日～6日	東京瓦斯研修所講堂	—	"	棚沢 泰	—	33	2		前刷集 4頁/1論文
第8回	1970年12月4日～5日	大阪瓦斯 トレーニングセンター	—	+ 工業火災協会 (8学協会) = 日本燃焼研究会、日本学術会議熱 工学研究連絡委員会、日本化学会、 日本機械学会、日本航空学会、 日本化学工学協会、 燃料協会、工業火災協会	T. M. SUGDEN (Shell Thornton Res. Center)	—	43	2		
第9回	1971年12月3日～4日	日本学術会議講堂	—	"	金原寿郎	—	58	2		
第10回	1972年12月1日～2日	東京瓦斯 研修センター講堂	—	"	熊谷清一郎	C. J. HALSTEAD (Esgham Res. Lab., Shell)	51	2		前刷集 1100円
第11回	1973年12月6日～7日	日本都市センター	—	"	近田 強	—	60	2		国際燃焼シンポジウム 東京で開催
第12回	1974年12月5日～6日	愛知県産業貿易館	—	"	功刀雅長	—	55	2		
第13回	1975年12月1日～2日	日本都市センター	—	"	山崎毅六	—	82	2		
第14回	1976年12月6日～7日	日本都市センター	—	"	鈴木桃太郎	—	81	2		前刷集 3頁/1論文
第15回	1977年12月5日～6日	京都商工会議所ビル	—	"	—	—	84	2		
第16回	1978年12月4日～5日	日本都市センター	—	"	猪飼 茂	—	86	2		
第17回	1979年12月3日～5日	愛知県産業貿易館	—	"	飯沼一男	H. H. CHIU (Univ. Illinois)	110	2		
第18回	1980年12月3日～5日	日本都市センター	—	"	秋田一雄	—	110	2		
第19回	1981年12月1日～3日	仙台市戦災復興記念館	—	"	大塚芳郎	—	125	3	辻 廣	
第20回	1982年11月20日～22日	慶応義塾大学理工学部	—	"	木村逸郎	—	137	3	猪飼 茂	前刷集 4000円
第21回	1983年11月4日～6日	大阪大学工学部	—	"	辻 廣	—	125	3	水谷幸夫	
第22回	1984年11月27日～29日	こまばエミナース	—	"	神野 博	—	125	3	木村逸郎	
第23回	1985年12月11日～13日	広島・中国新聞ビル	—	"	高橋恭郎	—	147	3	廣安博之	

D-6

パネル展示(No.3, その2)



日本燃焼学会

日本燃焼シンポジウム年表 (2/2)

燃焼シンポジウム 回数	開催日	開催場所	主催	共催	特別講演	招待講演	論文数 (口頭+ポス ター)	会場数	実行委員会 委員長 副委員長	備考
第24回	1986年12月3日～5日	日本学術会議	日本燃焼研究会	日本化学会など7学協会	池上 詢		128	3	越後亮三	
第25回	1987年11月2日～3日	北海道大学学術交流会館	"	"	永井伸樹 John H. LEE		37+85=122	4	谷口 博	
第26回	1988年11月28日～30日	日本学術会議	"	"	坂井正康		141	4	平野敏右	
第27回	1989年12月4日～6日	福岡リーセンホテル	"	+ 触媒学会 (8学協会)	水谷幸夫		171	4	小野信輔	
第28回	1990年11月26日～28日	水上温泉ホテル聚楽	"	日本化学会など9学協会	田中良一		190	4	河野通方	
第29回	1991年12月9日～11日	国立京都国際会館	日本燃焼学会	日本化学会など12学協会	巽 友正		226	4	池上 詢	日本燃焼学会となる
第30回	1992年12月7日～9日	名古屋国際会議場	"	日本化学会など13学協会	河村長司		206	4	竹野忠夫	前編集 4000円
第31回	1993年11月22日～24日	慶応義塾大学理工学部	"	"	平山直道		183	4	川口 修	
第32回	1994年11月21日～23日	仙台国際センター	"	日本化学会など14学協会	廣安博之		207	4	新岡 嵩	斎藤武雄
第33回	1995年11月23日～25日	都立科学技術大学	"	"	岩間 彬		211	4	堀 守雄	湯浅三郎
第34回	1996年11月27日～29日	広島国際会議場	"	日本化学会など15学協会	平野敏右	H. H. CHIU	232	4	廣安博之	滝 史郎
第35回	1997年11月20日～22日	早稲田大学国際会議場	"	日本化学会など14学協会 (日本学術会議後援)	竹野忠夫		247	4	中山満茂	岸本健
第36回	1998年11月18日～20日	グリーンホテル札幌	"	"	久保田浪之介		174+101=275	4	伊藤敏一	論文集 B5版844頁
第37回	1999年12月8日～10日	かずさ7カデミヤター	"	"	新岡 嵩	神本武征	255+79=334	4	宮内敏雄	論文集 A4版518頁 2頁/1論文
第38回	2000年11月29日～12月1日	アクロス福岡	"	"	伊藤敏一		188+72=261	4	城戸裕之	
第39回	2001年11月21日～23日	慶應義塾大学理工学部	"	"	川口 修	M. Godfrey Mung 松村雄二 Hyun Dong SHIN	226+42=268	5	佐野妙子	川口 修
第40回	2002年12月4日～6日	グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)	"	日本化学会など23学協会	香月正司		198+89=287	5	角田敏一	国際燃焼シンポジウム 札幌で開催
第41回	2003年12月3日～5日	エポカールつくば	"	安全工学協会、エネルギー・資 源学会、化学工学協会、可視化情 報学会、火薬学会、空気調和・ 衛生工学会、J F R C、自動車 技術会、触媒学会、炭素材料科学 会、液体微粒化学会、エネルギー 学会、化学会、火災学会、機械学会、 ガスタービン学会、機軸学会、 建築学会、航空宇宙学会、混相 流学会、伝熱学会、熱物性学会、 バーナ研究会、マイクログラビ ティ応用学会、流体力学会 (24学協会)	高城敏美	Kang Y. JUH Ho Young KIM A. M. TAYLOR	210+51=261	5	大屋正明	西岡牧人 論文集 5000円
第42回	2004年12月1日～3日	グランヴェール岐山	"	"	松為幸章	Suk Ho CHUNG Jong Soo KIM 小池 誠	221+40=261	5	梅村 章	若井和憲
第43回	2005年12月5日～7日	タワーホール船堀	"	"	河野通方	燃焼学会創立50 周年記念講演: 平野 敏右 Chung K. LAW	199+50=249	5	越 光男	斎藤 直



日本燃焼学会

日本燃焼学会 歴代会長



初代会長 矢木栄先生 在任期間：1955-1964
東京帝国大学工学部応用化学科卒
東京大学教授・名誉教授



第2代会長 疋田強先生 在任期間：1965-1974
東京帝国大学工学部火薬学科卒
東京大学教授・名誉教授



第3代会長 功刀雅長先生 在任期間：1975-1978
京都帝国大学工学部工業化学科卒
京都大学教授・名誉教授



第4代会長 辻廣先生 在任期間：1979-1984
東京帝国大学第二工学部物理工学科卒
東京大学教授・名誉教授



第5代会長 神野博先生 在任期間：1985-1988
京都大学工学部工業化学科卒
京都大学教授・名誉教授



第6代会長 平野敏右先生 在任期間：1989-1994
横浜国立大学工学部機械工学科卒
東京大学教授・名誉教授



第7代会長 新岡嵩先生 在任期間：1995-1998
東北大学工学部機械工学科卒
東北大学教授・名誉教授



第8代会長 河野通方先生 在任期間：1999-2002
東京大学工学部航空学科卒
東京大学教授



第9代会長 伊藤敏一先生 在任期間：2003-2004
北海道大学工学部機械工学科卒
北海道大学教授・名誉教授



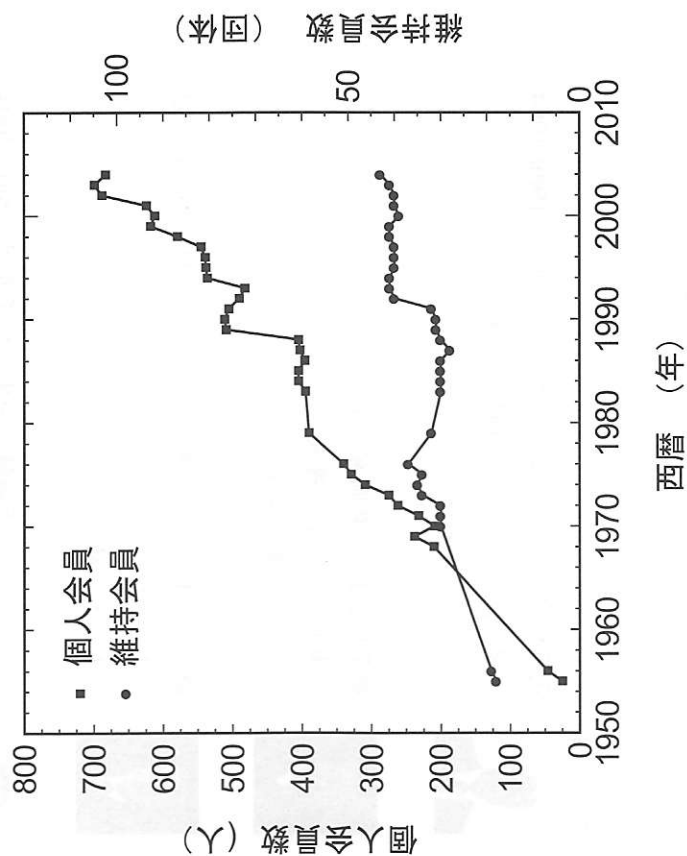
第10代会長 角田敏一先生 在任期間：2005-現在
広島大学工学部機械工学科卒
大阪府立大学教授



日本燃焼学会

日本燃焼学会会員数の変遷

西暦	元号	維持会員	名誉会員	個人会員	学生会員	理事	備考
1955	昭和30	18		25		6	日本学術会議研究連絡委員会委員(13を含む)
1956	31	19		46		8	日本学術会議研究連絡委員会委員(13を含む)
1957	32						
1958	33						
1959	34						
1960	35						
1961	36						
1962	37						
1963	38						
1964	39						
1965	40						
1966	41						
1967	42						
1968	43			210		21	
1969	44			238			
1970	45	30	1	209			
1971	46	30	1	232			
1972	47	30	1	262			
1973	48	34	1	275		28	
1974	49	35	1	309			
1975	50	34	1	329			
1976	51	37	1	340			
1977	52						
1978	53						
1979	54	32		390			
1980	55						
1981	56						
1982	57						
1983	58	30	1	395			
1984	59	30	6	405		17	
1985	60	30	6	405			
1986	61	30	6	396			
1987	62	28	5	403		20	
1988	63	30	5	405		21	
1989	平成1	31	4	509			
1990	2	31	4	511		22	
1991	3	32	3	505		22	
1992	4	40	3	490			
1993	5	41	2	482			
1994	6	41	5	536	53		
1995	7	40	5	538	39		
1996	8	40	5	539	37		
1997	9	40	4	545	14	24	
1998	10	41	4	579	17	24	
1999	11	41	5	618	13	25	
2000	12	39	5	612	18	27	
2001	13	40	4	624	12	28	
2002	14	40	4	688	39	31	
2003	15	41	3	699	30	31	
2004	16	43	3	683	13	29	



学会誌年表 (1/2)

日本燃焼学会



号	発行日				頁数	編集・発行体制	特別記事・変革等
	年(西暦)	月	年(元号)	月 日			
1	1959年	12月	昭和34年	12月 1日	33頁	編集委員長:熊谷清一郎	"燃焼研究"の創刊について(熊谷清一郎)
2	1960年	8月	35年	8月 -	57頁	"	「抄録カードの分類と1958年度の文献所在について」抄録委員会
3	1961年	1月	36年	1月 -	43頁	"	
4	1963年	6月	38年	6月 20日	55頁	編集委員長:辻 広, 委員:秋田一雄, 飯沼一男, 木村逸郎, 国井大蔵, 土屋莊次 編集・発行:日本燃焼研究会(文京区本富士町 東大工学部内)	第9回国際燃焼学会報告
5	1964年	1月	39年	1月 20日	102頁	"	
6	1964年	5月	39年	5月 10日	87頁	"	昭和38年度燃焼シンポジウム発表論文概要1~12 (第1回燃焼シンポジウム)
7	1964年	8月	39年	8月 30日	62頁	"	
8	1965年	1月	40年	1月 30日	31頁	"	
9	1965年	4月	40年	4月 30日	46頁	編集・発行:日本燃焼研究会(東京大学工学部燃料工学科内)	昭和39年度燃焼シンポジウム発表論文一覧表1~21
10	1965年	9月	40年	9月 30日	106頁	"	
11	1966年	1月	41年	1月 25日	54頁	"	昭和40年度燃焼シンポジウム発表論文一覧表1~21 第1号~第10号総目次
12	1966年	5月	41年	5月 25日	28頁	"	
13	1966年	8月	41年	8月 25日	38頁	"	燃焼に関する会員の論文一覧表(1965)
14	1966年	12月	41年	12月 30日	50頁	"	第4回燃焼シンポジウム発表論文題名1~26
15	1967年	4月	42年	4月 30日	48頁	"	燃焼に関する会員の論文一覧表(1966)
16	1967年	8月	42年	8月 31日	66頁	"	
17	1967年	12月	42年	12月 31日	43頁	"	第5回燃焼シンポジウム発表論文題名1~36
18	1968年	5月	43年	5月 31日	43頁	"	会員の燃焼論文一覧表(1967)
19	1968年	8月	43年	8月 31日	52頁	"	
20	1968年	12月	43年	12月 25日	31頁	"	国際燃焼シンポジウム報告, 第6回燃焼シンポジウム発表論文題名1~44
21	1969年	5月	44年	5月 31日	25頁	"	
22	1969年	9月	44年	9月 15日	28頁	"	
23	1970年	1月	45年	1月 31日	16頁	"	第7回燃焼シンポジウム報告
24	1970年	5月	45年	5月 -	35頁	"	日本燃焼研究会規定
25	1970年	8月	45年	8月 1日	35頁	"	
26	1970年	11月	45年	11月 25日	45頁	"	第13回国際燃焼シンポジウム報告, 第8回燃焼シンポジウムプログラム
27	1971年	4月	46年	4月 15日	67頁	"	会員アンケート結果
28	1971年	8月	46年	8月 15日	24頁	"	会員アンケート結果
29	1971年	11月	46年	11月 15日	45頁	"	第9回燃焼シンポジウムプログラム
30	1972年	4月	47年	4月 20日	44頁	"	第15回国際燃焼シンポジウム国内準備委員会発足報告 第9回燃焼シンポジウム報告
31	1972年	10月	47年	10月 5日	58頁	編集・発行:日本燃焼研究会(東京大学工学部反応化学科内)	
32	1972年	12月	47年	12月 15日	34頁	編集・発行:日本燃焼研究会(東京大学工学部燃料工学科内)	第14回および第15回国際燃焼シンポジウムについて 第10回燃焼シンポジウム報告
33	1973年	4月	48年	4月 20日	25頁	"	
34	1973年	9月	48年	9月 25日	26頁	"	
35	1973年	12月	48年	12月 5日	35頁	"	
36	1974年	3月	49年	3月 15日	57頁	"	第11回燃焼シンポジウム報告
37	1974年	12月	49年	12月 20日	71頁	"	
38	1975年	5月	50年	5月 30日	47頁	編集・発行:日本燃焼研究会(東京大学工学部反応化学科内)	第15回国際燃焼シンポジウム報告, 第12回燃焼シンポジウム報告
39	1975年	8月	50年	8月 10日	69頁	編集・発行:日本燃焼研究会(東京大学工学部燃料工学科内)	
40	1975年	11月	50年	11月 10日	71頁	"	
41	1976年	3月	51年	3月 -	37頁	"	第13回燃焼シンポジウム報告
42	1976年	8月	51年	8月 10日	25頁	"	
43	1976年	11月	51年	11月 30日	70頁	"	第16回国際燃焼シンポジウム報告
44	1977年	3月	52年	3月 25日	61頁	"	
45	1977年	8月	52年	8月 31日	42頁	"	
46	1977年	12月	52年	12月 20日	48頁	"	
47	1978年	3月	53年	3月 30日	85頁	"	
48	1978年	7月	53年	7月 30日	30頁	"	
49	1978年	12月	53年	12月 1日	74頁	"	第17回国際燃焼シンポジウム報告
50	1979年	5月	54年	5月 31日	42頁	編集・発行:日本燃焼研究会誌編集部 神野 博 (京都大学工学部工業化学教室内)	会長就任の挨拶(辻 広)
51	1979年	8月	54年	8月 25日	71頁	"	
52	1979年	12月	54年	12月 20日	40頁	"	
53	1980年	5月	55年	5月 15日	71頁	"	
54	1980年	9月	55年	9月 5日	65頁	"	
55	1980年	12月	55年	12月 25日	99頁	"	第18回国際燃焼シンポジウム報告
56	1981年	4月	56年	4月 25日	52頁	"	
57	1981年	8月	56年	8月 30日	58頁	"	
58	1981年	12月	56年	12月 25日	79頁	"	第1回国際燃焼学会専門家会議報告
59	1982年	4月	57年	4月 25日	96頁	"	
60	1982年	8月	57年	8月 20日	74頁	"	
61	1982年	12月	57年	12月 6日	81頁	"	第19回国際燃焼シンポジウム報告
62	1983年	5月	58年	5月 20日	53頁	"	ASME-JSME 熱工学合同会議特集
63	1983年	8月	58年	8月 30日	67頁	"	
64	1983年	12月	58年	12月 10日	99頁	"	
65	1984年	4月	59年	4月 14日	94頁	"	
66	1984年	8月	59年	8月 25日	73頁	"	
67	1984年	12月	59年	12月 22日	73頁	"	第20回国際燃焼シンポジウム報告
68	1985年	4月	60年	4月 30日	54頁	"	会長就任のご挨拶(神野 博), 総目次(第1号~第67号)
69	1985年	8月	60年	8月 22日	77頁	"	
70	1985年	12月	60年	12月 25日	72頁	"	

D-10

パネル展示 (No.6, その2)

学会誌年表 (2/2)

日本燃焼学会



号	発行日				頁数	編集・発行体制	特別記事・変革等
	年(西暦)	月	年(元号)	月 日			
71	1986年	4月	昭和61年	4月 30日	98頁	編集・発行: 日本燃焼研究会誌編集部 神野 博 (京都大学工学部工業化学教室内)	
72	1986年	8月	61年	8月 29日	81頁	"	
73	1986年	12月	61年	12月 25日	100頁	"	第21回国際燃焼シンポジウム報告
74	1987年	4月	62年	4月 30日	66頁	"	表紙等一新, 英文目次付加.
75	1987年	8月	62年	8月 30日	77頁	"	
76	1987年	12月	62年	12月 20日	46頁	"	
77	1988年	4月	63年	4月 30日	92頁	"	WSS-JS/CI JOINT TECHNICAL MEETING 報告
78	1988年	8月	63年	8月 31日	34頁	"	
79	1988年	12月	63年	12月 20日	65頁	"	第22回国際燃焼シンポジウム報告
80	1989年	4月	平成元年	4月 28日	82頁	"	会長就任にあたって(平野 敏右)
81	1989年	8月	元年	8月 31日	64頁	"	
82	1989年	12月	元年	12月 25日	60頁	"	日本・オーストラリア/ニュージーランド合同燃焼講演会報告
83	1990年	4月	2年	4月 30日	48頁	"	
84	1990年	8月	2年	8月 30日	74頁	"	
85	1990年	12月	2年	12月 25日	62頁	"	第23回国際燃焼シンポジウム報告
86	1991年	4月	3年	4月 30日	91頁	"	日本燃焼研究会から日本燃焼学会へ
87	1991年	8月	3年	8月 31日	46頁	"	
88	1991年	12月	3年	12月 31日	65頁	"	第3回 ICERSIについての報告
89	1992年	4月	4年	4月 30日	76頁	"	
90	1992年	8月	4年	8月 30日	46頁	"	
91	1992年	12月	4年	12月 25日	60頁	"	第24回国際燃焼シンポジウム報告
92	1993年	4月	5年	4月 30日	76頁	編集委員長: 廣安博之, 委員5名 発行事務局(岡山県立大学情報工学部内)	編集委員会発, 表紙カラー化, 年間4号発行開始
93	1993年	7月	5年	7月 30日	54頁	"	原著論文掲載開始
94	1993年	11月	5年	11月 10日	58頁	"	
95	1994年	1月	6年	1月 31日	84頁	"	
96	1994年	4月	6年	4月 30日	50頁	編集委員長: 福谷征史郎, 委員5名	
97	1994年	7月	6年	7月 30日	68頁	"	
98	1994年	10月	6年	10月 31日	65頁	"	第25回国際燃焼シンポジウム概要
99	1995年	1月	7年	1月 31日	72頁	"	会長就任にあたって(新聞 嵩)
100	1995年	4月	7年	4月 30日	79頁	"	連載講座, 研究所紹介掲載開始
101	1995年	7月	7年	7月 31日	70頁	"	
102	1995年	10月	7年	10月 31日	48頁	"	
103	1996年	1月	8年	1月 31日	94頁	"	
104	1996年	4月	8年	4月 30日	114頁	"	
105	1996年	7月	8年	7月 31日	59頁	"	
106	1996年	10月	8年	10月 31日	93頁	"	第26回国際燃焼シンポジウム概要
107	1997年	1月	9年	1月 31日	86頁	編集委員長: 川口 修, 委員5名	
108	1997年	4月	9年	4月 30日	103頁	"	
109	1997年	7月	9年	7月 30日	90頁	"	
110	1997年	10月	9年	10月 31日	67頁	"	
111	1998年	1月	10年	1月 31日	96頁	"	
112	1998年	4月	10年	4月 30日	103頁	"	
113	1998年	7月	10年	7月 31日	64頁	"	
114	1998年	10月	10年	10月 31日	61頁	"	第27回国際燃焼シンポジウム概要
115	1999年	1月	11年	1月 31日	79頁	発行事務局(大阪府立大学工学研究科内)	新製品・新技術紹介掲載
116	1999年	4月	11年	4月 30日	117頁	編集委員長: 太田安彦, 委員6名	
117	1999年	8月	11年	8月 25日	69頁	"	
118	1999年	10月	11年	10月 25日	70頁	"	
119	2000年	1月	12年	1月 30日	65頁	"	
120	2000年	4月	12年	4月 30日	110頁	"	
121	2000年	7月	12年	7月 30日	30頁	"	
122	2000年	10月	12年	10月 30日	67頁	"	新聞嵩先生 Egerton Gold Medal 受賞記事
123	2001年	1月	13年	1月 31日	45頁	"	
124	2001年	4月	13年	4月 31日	116頁	編集委員長: 小林秀昭, 委員6名	
125	2001年	7月	13年	7月 18日	71頁	"	
126	2001年	10月	13年	10月 25日	50頁	"	
127	2002年	2月	14年	2月 28日	70頁	論文審査委員長: 梅村 章	「日本燃焼学会誌」に名称変更, A4化, 論文審査委員会発足
128	2002年	5月	14年	5月 31日	56頁	"	
129	2002年	8月	14年	8月 31日	82頁	"	
130	2002年	11月	14年	11月 30日	52頁	"	トピックス掲載
131	2003年	2月	15年	2月 28日	66頁	(委員8名となる)	新会長就任挨拶(伊藤 敏一)
132	2003年	5月	15年	5月 31日	68頁	"	
133	2003年	8月	15年	8月 31日	72頁	"	
134	2003年	11月	15年	11月 30日	58頁	"	
135	2004年	2月	16年	2月 29日	64頁	編集委員長: 石塚 悟, 委員8名	
136	2004年	5月	16年	5月 31日	72頁	"	
137	2004年	8月	16年	8月 31日	70頁	"	
138	2004年	11月	16年	11月 30日	58頁	"	平野敏右先生 Lewis Gold Medal 受賞記事
139	2005年	2月	17年	2月 28日	80頁	(委員9名となる) 論文審査委員長: 香月 正司	新会長就任挨拶(角田 敏一)
140	2005年	5月	17年	5月 31日	82頁	"	
141	2005年	8月	17年	8月 31日	94頁	"	
142	2005年	11月	17年	11月 30日	68頁	"	

日本燃焼学会



顕彰者リスト

年度	H5 (1993)	H6 (1994)	H7 (1995)	H8 (1996)	H9 (1997)	H10 (1998)
回	1	2	3	4	5	6
功労	猪飼茂 (慶応大学) 小笠原光信 (大阪大学) 田中良一 (日本ファーマーズ)		浅羽哲郎 (東京大学) 磯田浩 (都立科技大学) 河村長司 (岐阜大学) 木村逸郎 (東海大学)	谷口博 (北海道大学) 永井伸樹 (東北大学) 松本隆一 (神戸大学)	山口誉起 (名古屋工業大学) 志永昭史 (岐阜大学)	浜本嘉輔 (岡山大学) 広安博之 (広島大学) 水谷幸夫 (大阪大学)
論文						吉田亮 (東京電機大学) 柿沼裕貴 (三洋電機) 小谷良信 (東京電機大学) 梅村章 (名古屋大学) 島田洋介 (防衛庁)
奨励	神原信志 (出光興産) 牧野敏 (静岡大学)	中部主敬 (京都大学) 西岡牧人 (名古屋大学)	池田英人 (石川島播磨重工) 池田裕二 (神戸大学) 鶴田俊 (東京大学) 平野光 (大阪ガス)	小林秀昭 (東北大学) 富田栄二 (岡山大学)	土橋律 (東京大学) 漆原友則 (日産自動車) 徐吉吉 (航技研)	店橋護 (東京工業大学) 秋浜一弘 (豊田中研)
技術	佐藤幹夫 (電力中研) 二宮徹 (電力中研) 中田俊彦 (東北大学) 中本充慶 (松下電器) 藤田龍夫 (松下電器) 橋戸健吉 (松下住設) 森上和久 (松下住設)	秋山鉄夫 (中外炉工業) 阪本佳史 (中外炉工業) 安達隆勝 (日新製鋼) 松村整 (日新機)	長谷耕志 (東京ガス) 伊藤庚一郎 (東京ガス) 駒木裕二 (ガスター) 木村新悟 (ガスター) 深山富志夫 (ガスター) 須藤淳 (日本ファーマーズ) 多田健 (日本ファーマーズ)	鈴木富雄 (神戸製鋼) 西村真 (神戸製鋼) 北村竜介 (神戸製鋼) 中西良太 (神戸製鋼)	大久保陽一郎 (豊田中研) 佐々木正史 (日産自動車) 吉田祐作 (自動車研究所)	妹尾順正 (石炭利用総合セ) 大川正文 (電源開発) 気賀尚志 (石川島播磨重工) 須田俊之 (石川島播磨重工) 新井一成 (日本酸素) 森嵩 (産業創造研究所) 平岡哲也 (大阪ガス) 榎本有 (大阪ガス) 小寺洋 (ハーマン) 中垣弘司 (中外炉工業) 佐伯孝敏 (大阪ガス) 樋下田和也 (中外炉工業) 永井精和 (中外炉工業)

年度	H11 (1999)	H12 (2000)	H13 (2001)	H14 (2002)	H15 (2003)	H16 (2004)
回	7	8	9	10	11	12
功労	池上詢 (京都大学) 斎間厚 (日本大学)	久保田浪之介 (三菱電機) 伊勢一 (日石三菱)	青木清 (日本大学) 佐賀井武 (群馬大学)	竹野忠夫 (名古屋大学) 祐植俊一 (筑波大学)	越後亮三 (東京工業大学) 小野信輔 (九州大学) 藤原俊隆 (名古屋大学)	三山創 (長岡技術科大学) 堀守雄 (拓殖大学)
論文	定方正毅 (東京大学) 吉田憲司 (大阪大学) 高城敏美 (大阪大学)	村瀬英一 (九州大学) 小野信輔 (九州大学) 花田邦彦 (九州大学) A. K. Oppenheim (UC Berkeley) 岡島敏 (法政大学)	香月正司 (大阪大学) 長谷川敏明 (日本ファーマーズ) 石塚悟 (広島大学) 甲村公典 (広島大学) 長谷川亮 (広島大学)	川口修 (慶応大学) 廣光永兆 (石川島播磨重工) 松為宏幸 (豊橋技術科大学)	坪井孝夫 (横国大) 石井一洋 (横浜国立大学) 伊藤和久 (三菱重工) 宮内敏雄 (東京工業大学) 店橋護 (東京工業大) 多田譲 (東京工業大) 伊藤嘉和 (東京工業大)	幸田清一郎 (上智大学) 杉山正和 (東京大学) 田川澄子 (同上) 木村恒雄 (東芝) 湯浅三郎 (都科技大) 白石紀子 (同上) 岡村昌明 (同上)
奨励	成瀬一郎 (豊橋技術科大学) 藤田修 (北海道大学)	藤森俊郎 (石川島播磨重工) 津江光洋 (東京大学) 佐宗祐子 (消防研)	野村浩司 (日本大学) 丸太薫 (秋田県立大学)	瀬川大資 (大阪府立大学) 松尾亜紀子 (慶応大学)	赤松史光 (大阪大学) D. Riechelmann (石川島播磨) 永田晴紀 (北海道大学)	滝田謙一 (東北大学) 溝淵泰寛 (JAXA) 三上真人 (山口大学)
技術	中本充慶 (松下電器産業) 松本俊成 (松下電器産業) 日下貴品 (松下電器産業) 粉川勝蔵 (松下電器産業) 藪内秀隆 (松下電器産業) 江口修 (松下電器産業) 森雅晶 (東京ガス) 佐藤浩 (東京ガス) 池浦栄一 (東京ガス) 藤秀実 (石川島播磨重工) 米澤克夫 (石川島播磨重工)	藤原尚樹 (出光興産) 松平恒夫 (NKK) 中村直 (NKK) 鈴木康夫 (NKK) 宇治茂一 (石川島播磨重工) 斎藤司 (石川島播磨重工)	藤宗篤雄 (日石三菱) 相澤幸雄 (日石三菱) 水野康夫 (日石三菱) 見方謙作 (日精オーバル) 吉田正四 (日精オーバル) 二宮順一 (ロザイ工業) 朝比奈隆 (ロザイ工業) 家次儀一 (ロザイ工業) 茅原敏広 (三浦工業) 海谷和男 (東京ガス)	松田昌明 (ノーリツ) 木村新悟 (ノーリツ) 畑秀典 (ノーリツ) 秋山隆 (ノーリツ) 長谷川敬 (ノーリツ) 下村幸治 (ノーリツ) 神原信志 (出光興産) 只限佑輔 (NEDO) 亀井健治 (石炭利用総合セ) 行村建 (同志社大学) 島崎勇一 (本田技研)	山上俊 (大阪ガス) 佐伯孝敏 (大阪ガス) 鈴木実 (JFE) 立福輝生 (JFE) 横山隆 (JFE)	片岡静夫 (タクマ) 鮫島良二 (同上) 藤川博之 (同上) 秋山仁 (同上)